



第5回NeXEHRSSシンポジウム

2. PHR サービスのご紹介と今後の展望について

双方向型PHR基盤「ヘルスケアパスポート」のご紹介

2023.12.13

TIS株式会社

DXビジネスユニット ヘルスケアサービスユニット

ヘルスケアプラットフォームサービス部

キャッシュレス

エネルギー

ITで、社会の願い叶えよう。

スマートシティ

ヘルスケア

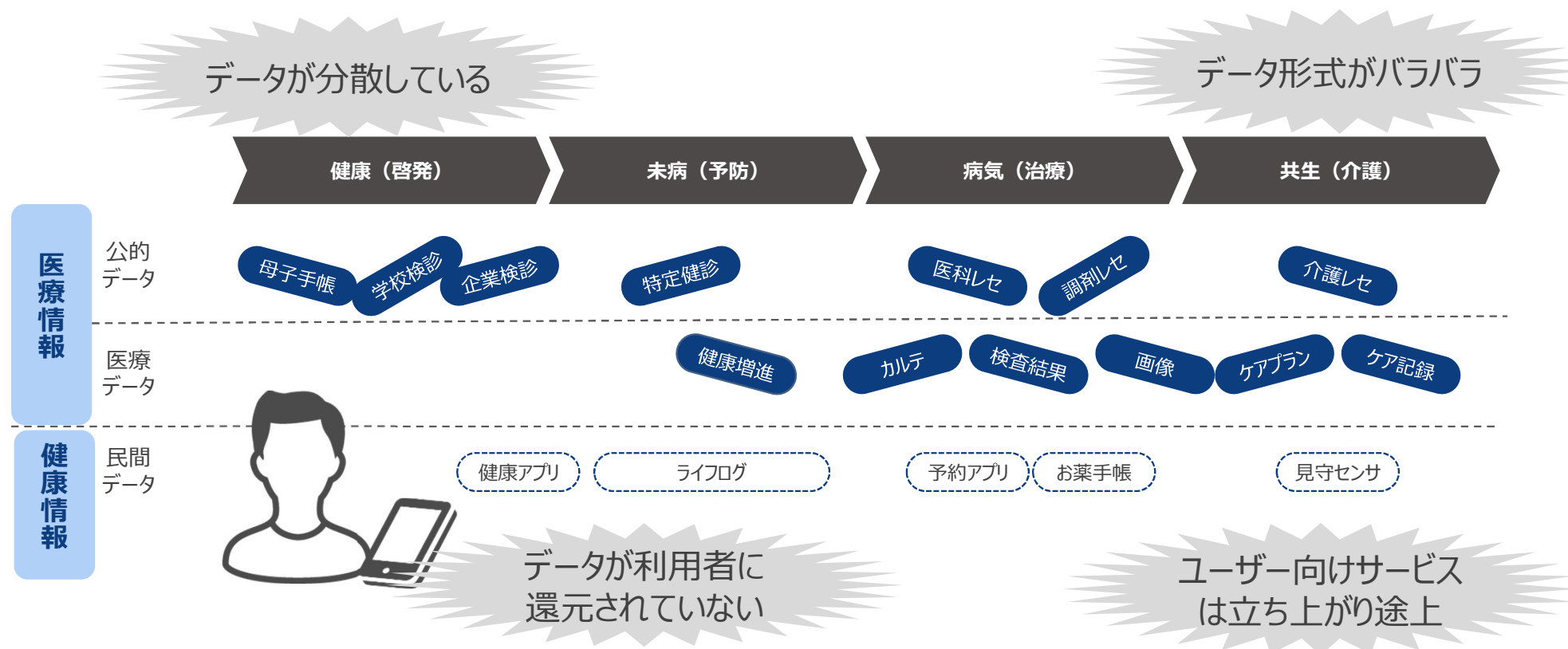
TIS株式会社 (TIS Inc.)

◆ 創 業	1971年4月28日	◆ 売 上 高	連結:482,547百万円 単体:222,986百万円 (2022年3月期)
◆ 設 立	2008年4月1日	◆ 主要取引銀行	三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行
◆ 資本金	100億円	◆ 上 場 市 場	東証プライム市場 (3626)
◆ 従業員	連結:21,817名 単体:5,469名 (2022年3月31日現在)		

TISのPHRサービス事業のコンセプト

健康・医療情報利活用における課題

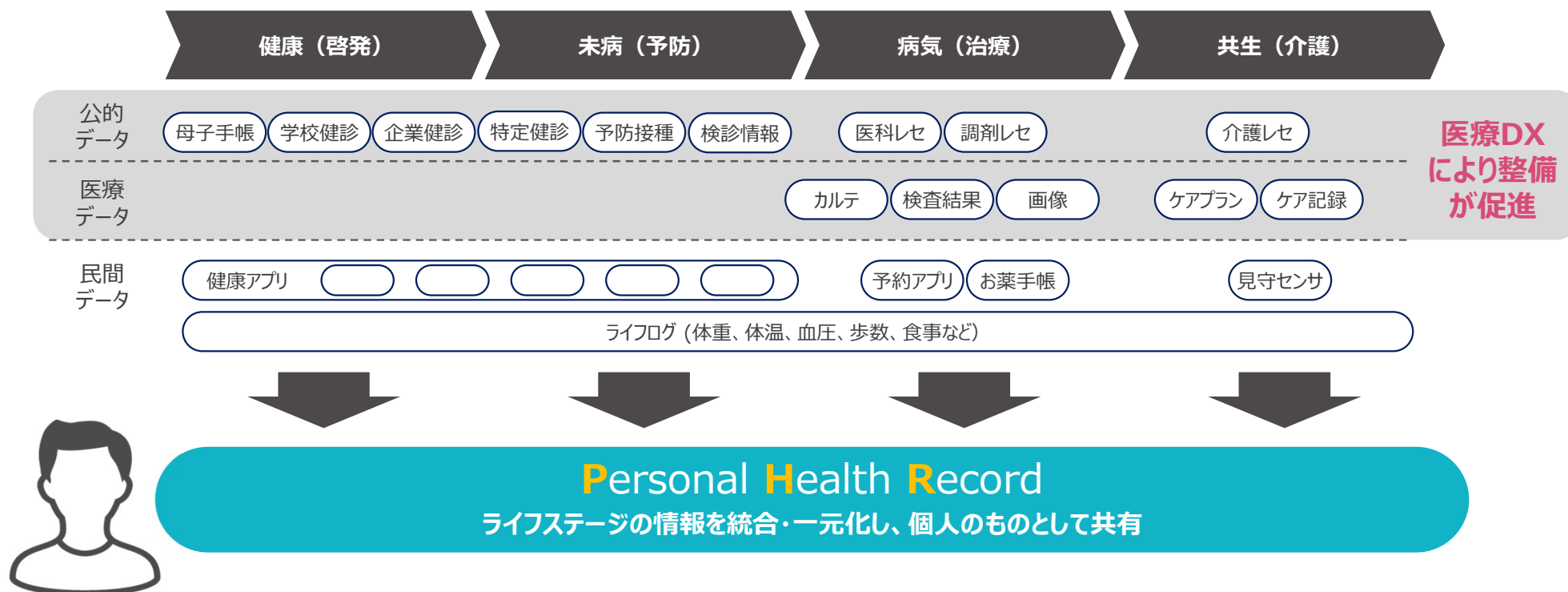
ライフステージ一貫通貫でデータを活用する人に便利な形で健康・医療情報が共有できていない
(健康情報 = 一般的なライフログ、医療情報 = 医療・健診などの精度高い情報)



少子高齢化社会における、健康寿命延伸の取り組みに向けて大きな課題となっている

TISが目指す方向性

ライフステージ一貫通貫でデータを活用する人に便利な形で健康・医療情報を蓄積・共有し、人々の健康維持・増進に活用できる仕組みを提供する

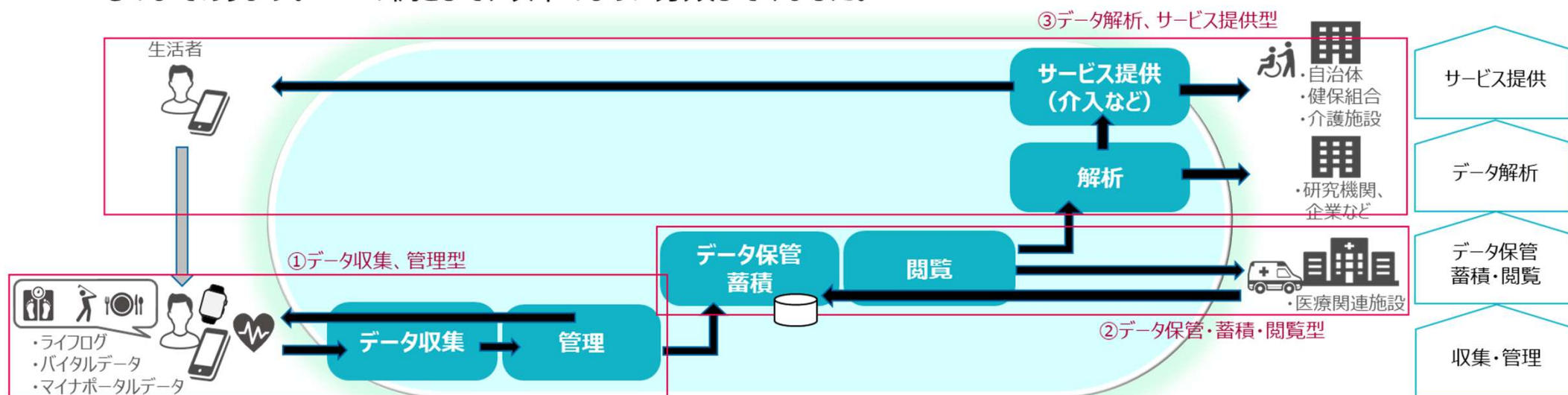


一生涯の健康・医療情報を自ら管理し、活用できる仕組みを提供します。

ヘルスケアパスポートのご紹介

このサービスの位置づけ

PHRサービスには、様々なタイプが存在します。データを収集管理するものから、データを解析しサービスとして情報提供するものまであります。1つの例として、以下のように分類してみました。



① データ収集、管理型

・ウェアラブルデバイス等を展開し、データを収集、管理する。独自の計測機能に対応するためにも独自の記録管理用のアプリを提供することが多い。

② データ保管・蓄積・閲覧型

・様々なデータに対応し、複数ソースからのデータ取込（連携）を行い蓄積する。合わせて、これらデータの閲覧機能を提供することが多い。

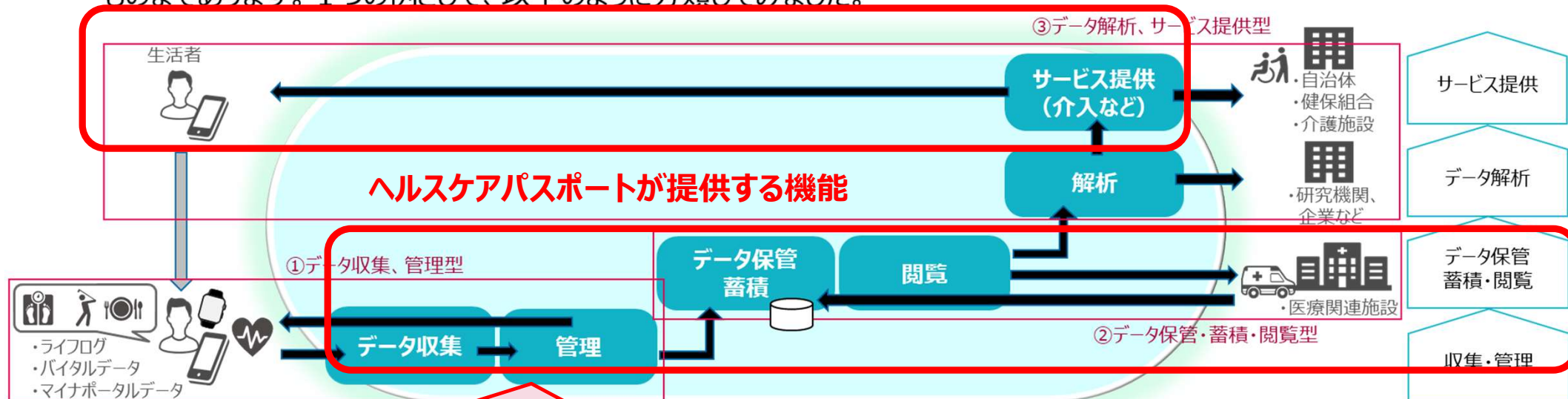
③ (集まったデータを用いた) データ解析、サービス提供型

・データ解析等を行い、健康経営や生活習慣改善、行動変容等のサービスを提供する。

④ 上記サービスの組み合わせ型

このサービスの位置づけ

PHRサービスには、様々なタイプが存在します。データを収集管理するものから、データを解析しサービスとして情報提供するものまであります。1つの例として、以下のように分類してみました。



① データ収集、管理型

- ① 地域の中核病院、スマホアプリ、マイナポータル等から「データを収集」し、「保管・蓄積」し、
- ② 病院・診療へ「閲覧機能」を提供できる。また、生活者がスマホで健康のために「自身のデータを管理」できるサービスです。

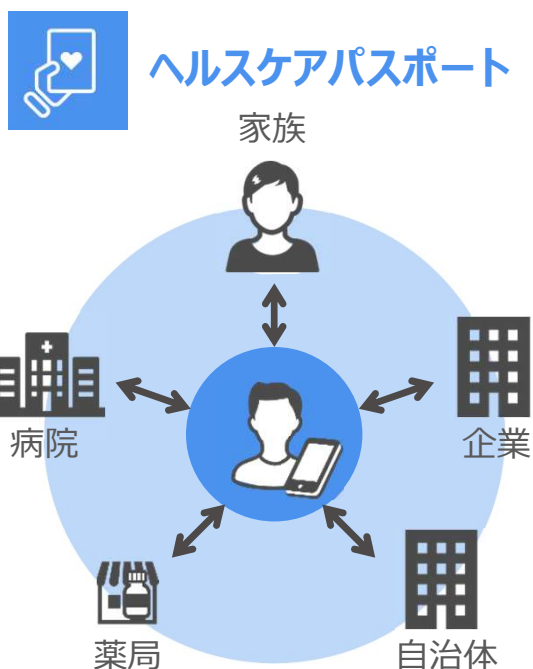
・データ解析等を行い、健康経営や生活習慣改善、行動変容等のサービスを提供する。

④ 上記サービスの組み合わせ型

ヘルスケアパスポートとは

ヘルスケアパスポートは、市民が自らの健康・医療情報を管理できる双方向型PHRサービスです。
既に複数の地域における医療連携などで利用されています。

ユーザーアプリ



施設ブラウザ



日々の健康情報のみならず、医療機関からの電子カルテ情報、企業の健診情報など自らの情報を取り込み管理します。

本人の同意を得ることで、個人が保有する健康・医療情報を取得することが可能です。

地域医療連携用の施設ブラウザがあるため、医療機関のシステム環境に影響を与えることなく、医療機関との連携も容易です。

共有できる健康・医療情報

目の前の患者像を把握するための健康・医療に関する一通りの基本データが閲覧可能



● 住民による入力や連携により登録 ● 医療施設等からのデータ連携

日々の記録の共有

問診情報、バイタル情報、その他日々の情報(PROなど)を医療機関へ共有し、日常生活と連携した適切な診療を支援



生活者



18:09 問診メモ 田中 花子

入力された問診メモは医療機関へ連携されます

過去にかかった大きな病気
過去の大きな病気を記録しましょう

登録

アレルギー
アレルギーが出る項目を記録しましょう

登録

飲酒
飲酒をする頻度を記録しましょう

登録

喫煙
吸う 吸わない

ジェネリック医薬品
希望する 希望しない

HOME バイタル 問診メモ 設定

問診メモ



日々の記録 田中 花子

入力されたデータは医療機関へリアルタイムに連携されます

< 2022/7/14 (木) >

体重 55 kg

血圧 125/85 mmHg / 120/83 mmHg

脈拍 60 回/分

体温 36 °C

血中酸素濃度 97 %

呼吸数 15 回/分

血糖値 -- mg/dL

HOME 日々の記録 問診メモ 設定

日々の記録

※普段ご利用しない項目については表示しないよう設定も可能です。

健康情報
共有



医療従事者



123456789 田中 花子 様

患者アプリデータ

基本情報

1970年1月1日 (49歳) 女性

※2020年4月1日時点

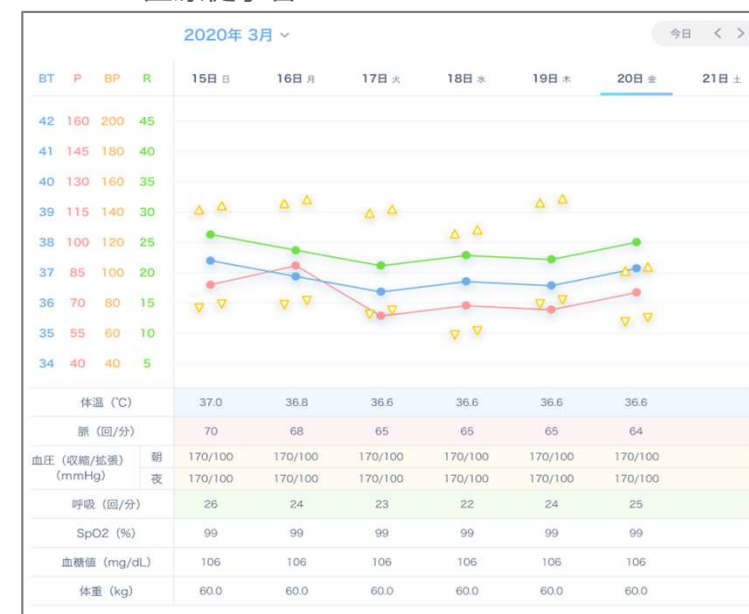
身長 160cm 体重 70.0kg BMI 27.34

飲酒 飲む(時々) 喫煙 吸わない

ジェネリック 希望する ベースメーカー なし

経歴 なし

患者基本情報



温度版によるバイタル確認

マイナポータルAPIからのデータ連携

マイナポータルとヘルスケアパスポートのデータ連携により、
行政が管理する自身の医療・健康情報をアプリ上に蓄積し確認することが可能です。

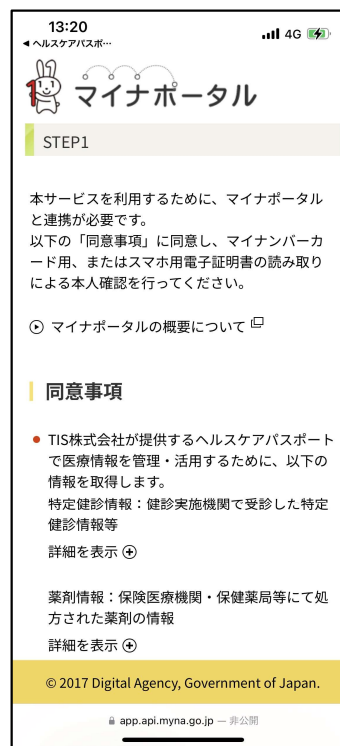
ホーム画面の「設定」から
「マイナポータル連携」を選択



データ取得を選択



マイナポータルページに遷移して、
データ提供に関する同意取得



スマホにマイナナンバーカードを
かざして本人確認



ヘルスケアパスポートアプリで、
特定健診や薬剤情報が確認可能に



家族に共有



医師に共有



マイナポータルAPIからのデータ連携

マイナポータルとヘルスケアパスポートのデータ連携により、
行政が管理する自身の医療・健康情報をアプリ上に蓄積し確認することが可能です。

医療保険情報		自己情報	
特定健診（129項目）	薬剤情報（18項目）	予防接種（62項目）	各種健診（189項目）
●実施年月日 ●特定健診機関名称 ●身長 ●体重 ●BMI ●既往歴 ●自覚症状 ●心電図（所見の有無） ●メタボ判定 ●保健指導レベル ●医師の診断（判定） ●保健指導の希望 ●20歳からの体重変化 ●生活習慣の改善	●医療機関（薬局名称） ●処方箋発行医療機関名称 ●調剤日 ●処方箋発行日 ●用法名称 ●特別指示 ●薬剤名 ●単位 ●使用量 ●一回用量 ●回数 ●調剤単位	●四種混合（DPT-IPV） ●三種混合（DPT） ●二種混合（DT） ●不活化ポリオ（IPV） ●麻しん風しん混合（MR） ●風しん ●日本脳炎 ●BCG ●小児肺炎球菌 ●ヒトパピローマ ●水痘 ●B型肝炎 ●高齢者肺炎球菌 ●ロタウイルス ●新型コロナウイルス	●出生時の情報 ●3から4か月児健診情報 ●1歳6か月児健診情報 ・身体健診情報 ・歯科健診情報 ・精密健康診査受診票情報 ●3歳児健診情報 ・身体健診情報 ・歯科健診情報 ・精密健康診査受診票情報 ●妊婦健診情報 ・妊婦健診情報 ・妊婦歯科情報 ・出産の状態に係る情報

ヘルスケアパスポートのメリット（市民向け）

皆さんの健康に関する、こんな声にお応えするアプリです



普段から測定している体温や血圧といった**健康データ**を医師に見守ってもらいたい。

医師からいつ・どのような診察や処方をしてもらったか、**正確に記録して家族に共有したい**。

子どもや自分の**健康診断や予防接種の記録**を生涯にわたって管理しておきたい。

日々のバイタルデータを共有



Appleヘルスケア連携により
承諾した医療機関に共有



ヘルスケアパスポート



医療機関からメッセージ機能で、
検査結果などを通院せず確認

検査・処方内容を共有



家族が診察に同行しなくても、
アプリで結果を閲覧
(2023年3月末～)

ヘルスケアパスポートのメリット（医療機関向け）



地方自治体での実際のヘルスケアパスポート導入モデル

分散化するPHRを一生涯で管理することで、住民の健康維持を総合的に促進するとともに、各年代に応じて必要な行政サービスをより効果的に提供することができます。



千葉県君津市（Type 1：優良モデル導入支援型）

- ・⑥：市民のPHR活用による健康意識向上と行動変容促進、地域の健康コミュニティの主体的な醸成に繋げ、より暮らしやすい街づくりへの寄与を目指す。

福島県会津若松市（Type3：データ連携基盤活用型）

- ・③④：データ連携基盤を活用し、医療機関の受診履歴と日々の健康管理を統合することで、相互にPHR情報を閲覧し、市民一人ひとりの生活習慣に寄り添った健康管理を支援できる仕組みの構築を目指す。
- ・①～⑦：PHRデータを一生涯で管理することで、住民の健康状態の偏差値を把握し、適切なサービスを提供することで健康増進に繋げる。

宮崎県都農町（TypeX：マイナンバーカード横展開事例創出型）

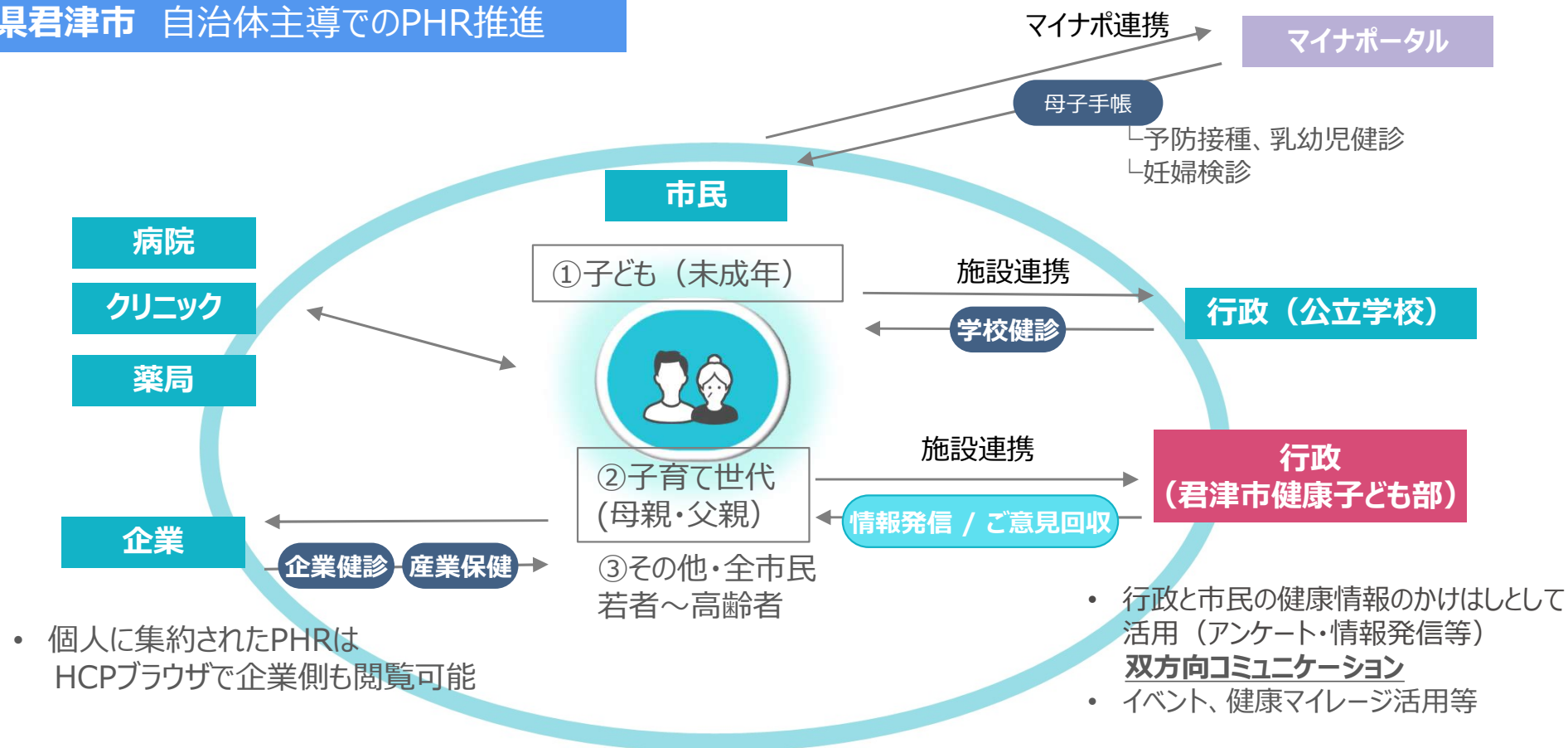
- ・⑤：マイナポータルと連携して特定健診結果を取得し、前年度からの減量達成や検査基準値内の住民へのインセンティブを提供する。

兵庫県丹波篠山市

- ・③④：医療施設及び薬局を中心に、地域全体で救急医療なども含めた医療情報の共有と患者の健康管理で活用する。

活用事例1

千葉県君津市 自治体主導でのPHR推進



エリア全体でのPHRを活用した双方向コミュニケーションの実現を目指します

会津若松市 デジタル田園都市国家構想に向けた取組みに参加しております。

- 今後の地方創生に向けた企画拠点として、**2019年4月に会津若松オフィスを開設。**
- 「キャッシュレス」、「ロボティクス」、「ヘルスケア」の各分野で地域企業と連携しつつ、今年度はデジタル田園都市国家構想推進交付金TYPE3に選定され、スマートシティに関連する実装を推進。
- 「ヘルスケア」では、「**PHRサブ分科会**」のリーダー企業として**活動**しております。

会津若松ICTオフィス「AiCT(アイクト)」



サブ分科会とサブ分科会リーダー

サブ分科会名	担当企業
PHR サブ分科会	TIS
AI ホームドクター/Dr インデックス、AI 医療クラーク	アクセンチュア
医療機関滞在 15 分/0 分 PJT	ソフトバンク
デジタル介護・介護予防	SOMPO ホールディングス

【ヘルスケア】 PHR/EHR情報を統合して閲覧可能な医療DB構築
医療DBを活用した遠隔医療サービスの実現

事業費：12,300万円

実施主体：AiCTコンソ（ヘルスケアWG）

12

・県の広域電子カルテ情報共有サービスであるキビタン健康ネットに加入する医療機関がある一方で、ヘルスケアIoTデバイスの普及により個人でアプリごとに蓄積・保管するヘルスケアデータも増えており、データが分散してしまっている状況にある。そこで、共通IDをキーとして、キビタン健康ネットを通じたEHR情報とヘルスケアIoTデバイスから生成されるPHR情報を統合し、医療従事者等が患者の**オプトインに基づきPHR/EHR情報が閲覧可能なサービスを実現する。**

・データ連携基盤を通じて患者のオプトインに基づき取得可能な**PHR/EHR情報を閲覧しながらオンライン医療サービス（健康相談/診療/服薬指導）を実施可能**にするとともに、当該診療等の結果についてもPHR/EHR情報に集約されるように連携する。

取組の効果

【市民】

・受診歴や家庭での血圧値などが医療者に伝わるため、より適した助言・診療を受けられ、病気の発症・悪化を予防。

【医療従事者の方】

・受診歴やIoT機器のライフログも含め状態像を把握でき、より適切な診療/助言に繋がる。

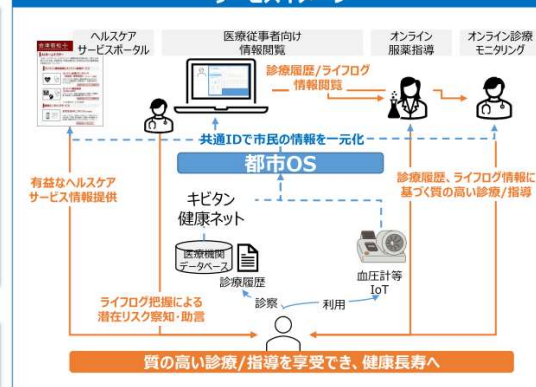
【地域全体】

医療も市民もデータに基づき予防への意識が高まり、健康寿命の延伸に繋がる。

目指す将来像

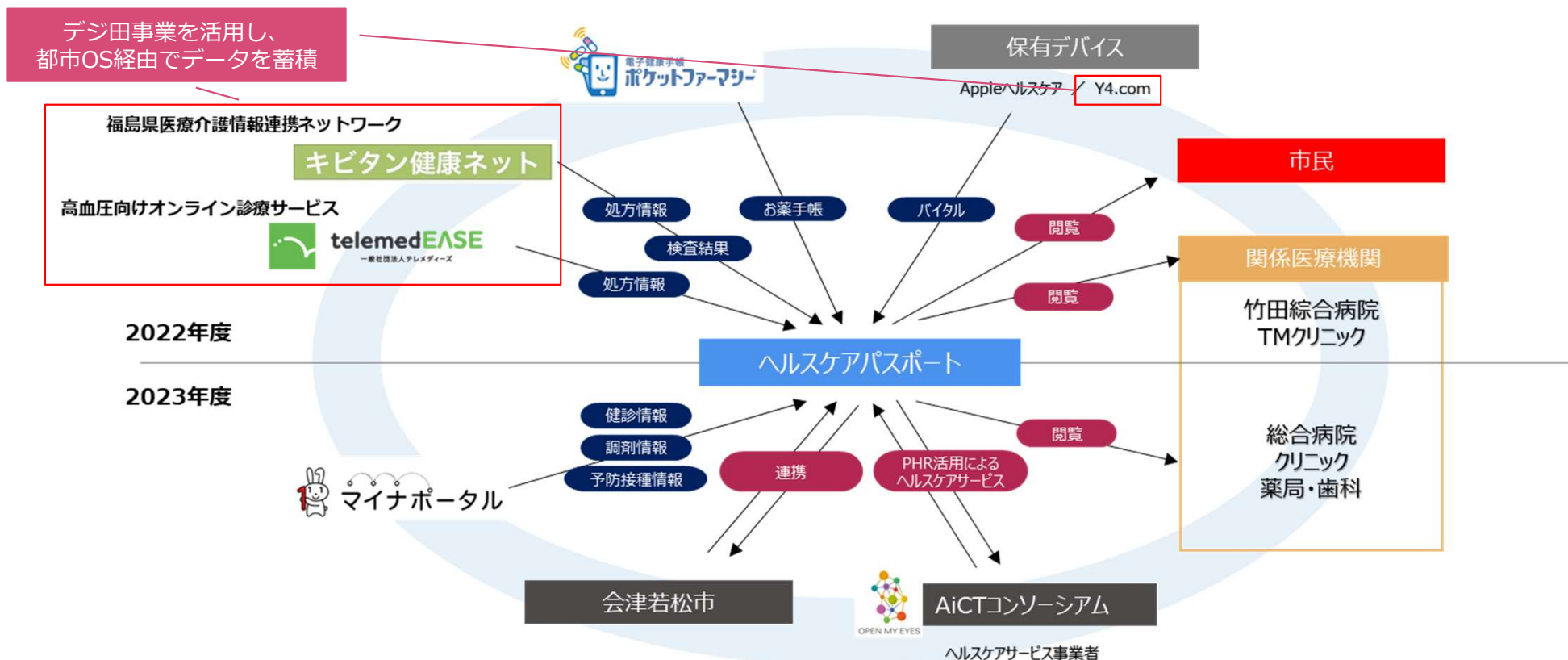
デジタル技術を活用した予防医療の仕組み構築により持続可能な健康長寿の実現を目指す。

サービスイメージ



福島県会津若松市 デジ田事業を活用したPHR基盤の構築

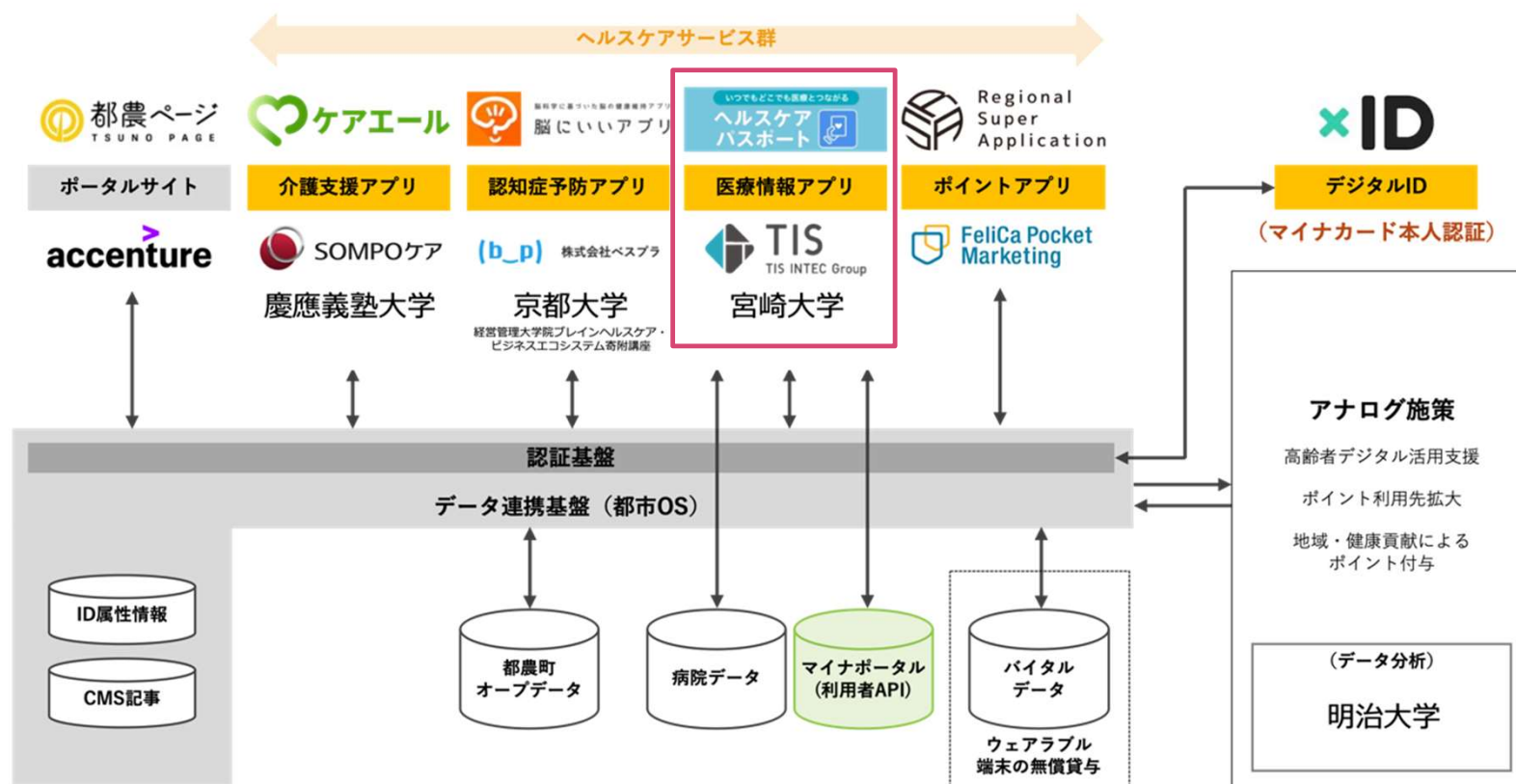
令和3年度補正予算デジタル田園都市国家構想推進交付金（Type-3）での事業のうち、ヘルスケア分野におけるPHR/EHR統合基盤として、ヘルスケアパスポートが採択されて、データ連携基盤を活用したPHRのデータ連携を実施



活用事例3

宮崎県都農町 デジ田事業を活用した健康増進インセンティブ事業

令和5年度にデジタル田園都市国家構想推進交付金（Type-X:マイナンバーカード横展開事例創出型）で導入。
マイナポータルとヘルスケアパスポートの連携により、特定健診結果を取得し、その結果に応じて地域ポイントを付与するインセンティブ事業を実施。



宮崎県都農町 デジ田事業を活用した健康増進インセンティブ事業

令和5年度にデジタル田園都市国家構想推進交付金（Type-X:マイナンバーカード横展開事例創出型）で導入。
マイナポータルとヘルスケアパスポートの連携により、特定健診結果を取得し、その結果に応じて地域ポイントを付与するインセンティブ事業を実施。



- ① 特定健診の受診
- ② 前年度からの減量達成
- ③ 全項目が基準値内



それぞれ判定で地域ポイント付与



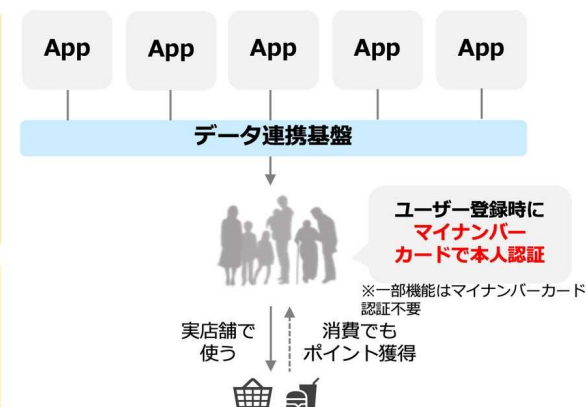
健康行動でポイントゲット！
項目は他アプリ・都農町既存事業と連動させる



電子商品券にも活用する為
マイナンバーカードでの本人認証を
必須とする (xID)

貯める

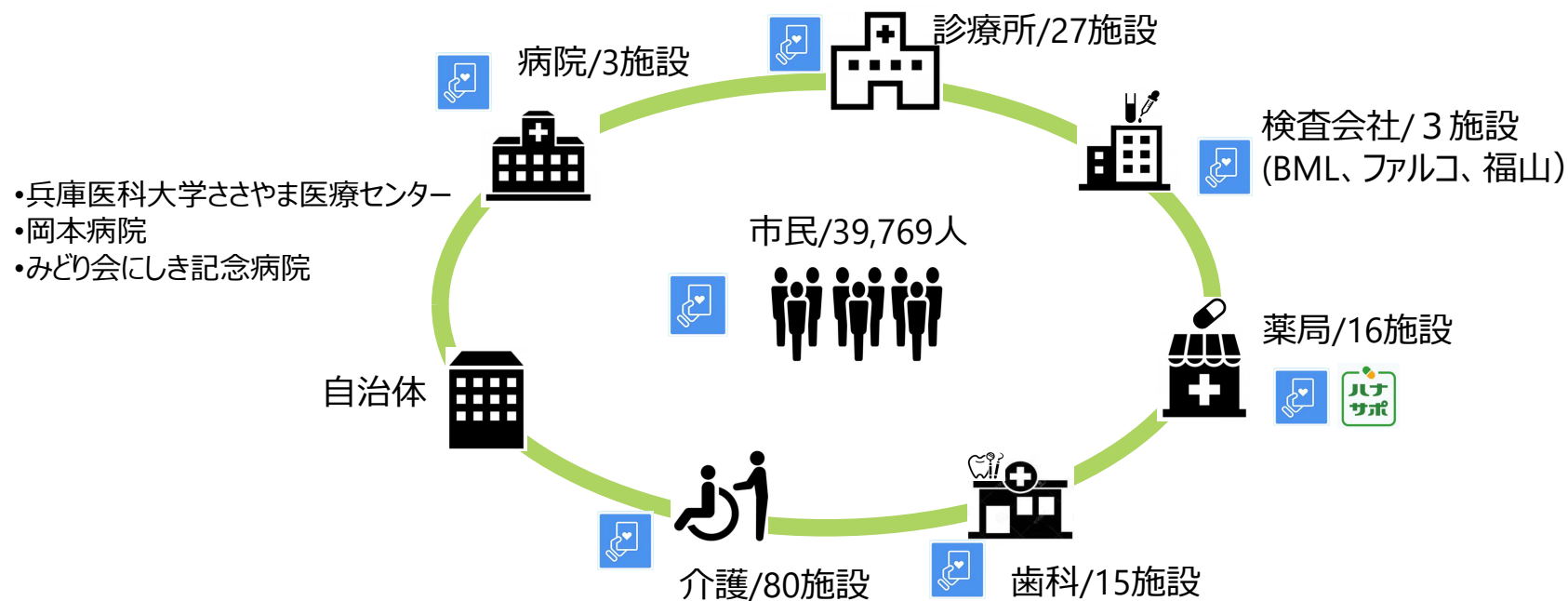
使う



活用事例4

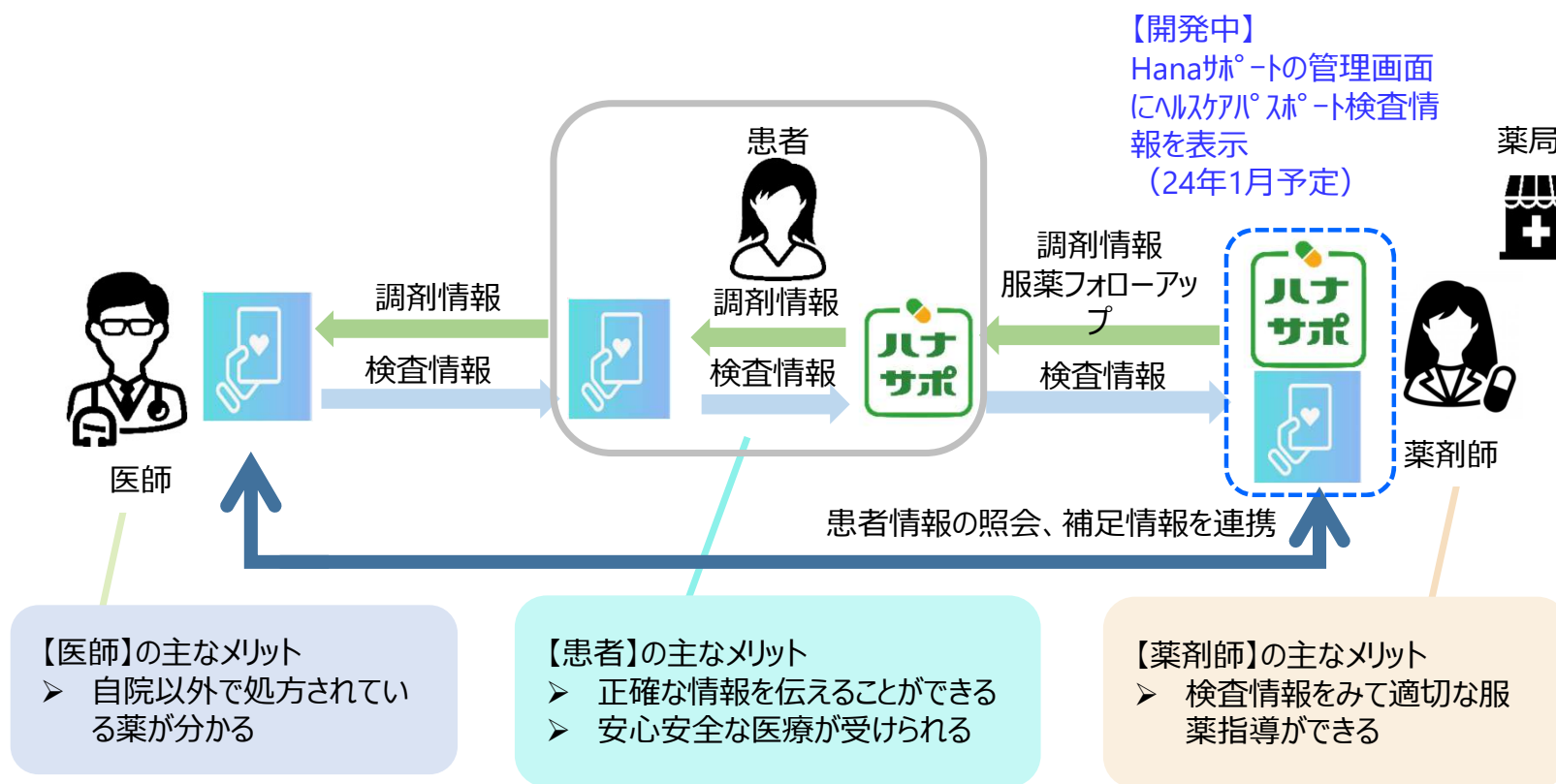
兵庫県丹波篠山市 PHRを地域の医療・介護施設へ連携して活用

- ✓ 救急医療で活用
- ✓ 周産期医療での活用
- ✓ 生活習慣病の改善に向けての活用
- ✓ HANAサポート（お薬手帳）との連携
- ✓ 医療介護連携（HCP施設間メモ機能）



兵庫県丹波篠山市 PHRを地域の医療・介護施設へ連携して活用

- ✓ 薬剤師は血液検査情報を確認して服薬指導を行うことができます。
- ✓ 医師は薬局の調剤情報を確認でき、自院以外の処方薬を把握できます。



まとめ

ヘルスケアパスポートの特長まとめ

1

健康・医療情報を
生涯にわたって蓄積し
双方向にやりとりできる

健康・医療情報を「医療機関
同士」や「医療従事者と患者」
の双方向でやりとりできます。

2

生活者自身が
**情報開示を
コントロール**できる

生活者が施設単位に連携を
許可する仕組みのため安心して
利用できます。家族への共
有も可能です。

3

クラウドサービスなので
低コスト、安定した
システム利用を実現

導入における構築がないため、
初期投資を抑えられます。
またクラウドに情報が蓄積され
ているので災害時などにも継続
利用が可能です。

4

オープンな
プラットフォーム共有型
により**拡張しやすい**

厚生労働省が定める標準に
準拠しているため、一般的な
医療システムとの連携が可能
です。さまざまな外部サービスと
の連携にも対応しております。

ヘルスケアデータを活用した社会の未来像



さまざまな人々やサービスが**つながる**ことで生活者のQOL向上を目指します

ご清聴ありがとうございました

ITで、社会の願い叶えよう。

